



発行
 利根町立小学校統合準備委員会事務局
 (利根町教育委員会学校教育課 小学校統合準備室)
 TEL 0297-68-2211 (内線:404)
 FAX 0297-68-7989

令和3年度最初の『利根町立小学校統合準備委員会』を開催，新委員決まる

令和3年5月26日(水)，今年度最初の「利根町立小学校統合準備委員会(第7回)」を開催いたしました。

委員会を構成するPTA役員や区長の改選などに伴い，下記のとおり新たに委員委嘱を行いました。

今後も引き続き，令和5年4月の利根小学校開校に向け準備を進めて参ります。

令和3年度より新たに統合準備委員会の委員となった方

大竹 正人	町PTA連絡協議会会長	堀 佳美	PTA副会長(文間小)
岡野 真澄	PTA(文間小)	吉野 正一	早尾台区長(文学校区)
佐藤 陽恵	もえぎ野台区長 (文学校区)	田上 市郎	中谷区長(文間学校区)
川村 進一	押戸区長(文間学校区)	岡崎 学	利根中学校校長
友野 和也	文小学校校長	井口 典厚	文間小学校教頭
桜井 保夫	役場 生涯学習課長	※敬称略，順不同	

統合準備委員会の検討事項および経過について

第7回準備委員会(令和3年5月26日開催)

- 委員の委嘱および委員会副委員長の指名について
 新たに委員となった方に委嘱状を交付し，浅野前利根中学校長の退任に伴い欠員となった副委員長に，後任の岡崎校長を指名し，委員会にて承認
- 専門部会部員の指名について
 新たに委員となった方の専門部会(総務部会，PTA部会，学校運営部会)所属を決定
- スクールバスのルート案について【総務部会】
 バスルート案について，これまでの修正点を踏まえ，総務部会としての案を決定し次回の全体会議に諮ることを決定
- 利根小学校の校章デザイン案の決定方法について【総務部会】
 現在公募を行っている校章のデザイン案について，応募のあったデザイン案の中からどのように準備委員会としての最終案を決定するのか，総務部会として考えた決定方法について次回の全体会議に提案し，決定することを確認
- ジャージ・体操服の選定方法について【PTA部会・学校運営部会共同】
 利根小学校で使用するジャージおよび体操服について，色，ジッパータイプ，素材等についてメーカーからの聴き取りをおこない，今後，町衣料品販売組合に依頼し，複数社からサンプルを取り寄せ，展示会を開催すると共にアンケート投票を実施し，投票結果を踏まえ，準備委員会で最終決定することを確認

統合に関するQ&A

これまでに、統合に関する内容で実際に住民の方から学校教育課にお問い合わせいただいた内容について、下記のとおり回答しておりますので掲載いたします。

Q 文小学校や文間小学校は過去に国の補助金を使って大規模改造工事をしているが、統合する場合は国に2億3千万円ものお金を返還する必要があると聞いた。町の財源で返さなくてはならないのではないか？

A 国の補助事業等により補助を受けたものについて、特定の場合（国庫補助金等を活用して建築を行い、10年未満の建物など）において補助金の返還が必要となるケースがありますが、今回の統廃合により補助金の返還を要するものはございません。

なお、2億3千万円という金額については、平成30年に開催した利根町小学校適正配置等調査検討委員会の資料として公表しているものの中で、布川小学校に統合した場合に借入償還金として一括償還の可能性のある地方債の金額として掲載したもので、国庫補助金を指しているものではありません。

また、地方債については、町が財政上必要とする資金を外部から調達する債務（借金）ですので、統廃合に関わりなく町が返済しなければならないものです。

この地方債については、学校を統廃合した場合に一括して償還（返済）する必要となるケースがありますが、こちらについても今回の統廃合の場合は一括償還を要するものではありません。

Q 統合した場合、町内の児童は10台以上のスクールバスにより登下校することになり、バスの運行経費が年間で5千8百万円もかかると聞いたが、このような大きな金額を町や住民の負担で払っていくのか？

A スクールバスの運行に必要な経費については、現時点の試算で令和5年の利根小学校開校時には12台程度による運行が必要となり、その運行経費は年間で5千8百万円程度かかる見込みとなっておりますが、町が学校の運営に必要な経費は、地方交付税により賄われます。

地方交付税とは、町を一定の水準で運営するために必要なお金について、国の基準により、国から町に対して交付される財政制度で、町がスクールバスの運行を行う場合についても、地方交付税の算定基準の一つとなっております。これにより、毎年の運行に必要な経費と同程度の交付税が国から町に交付される見込みですので、保護者の方に利用料をいただく考えはございません。

Q 複式学級により学力が高くなったという学校もあると聞いたが、利根町もそうするべきではないのか。

A 複式学級や小規模学級で全国平均よりも良い成績を残した事例は実際にございます。一方で、小規模学級でも全国平均より低い事例もあるため、一つの事例のみを取り上げて論じたり、“小規模学級”や“複式学級”という要素が学力を左右すると断定することはできません。

また、これまでに教育に関する多くの研究が発表されておりますが、複式学級や小規模校の方が学力が高く、単学級や大規模校は学力が低いということを証明する明確なエビデンス（根拠）を用いて結論づけている発表はございません。最新のデータを用いた研究ほど、学級規模の縮小が学力に与える影響は小さくなっているか、影響は存在しないとしている研究結果も出ております。

どの教育環境や方法が望ましいのかという点については、多様な見解があり得るものであり、利根町の場合は、適正配置や適正規模を検討した結果、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいと判断し、統合するに至りました。